北海商科大学　講義概要（シラバス）

2026年度

科目名	コマース研究ゼミナールⅡ	科目コード	1210	単位数	2
担当者名	澤内　大輔	開講セメスター	第5セメスター	開講年次	3年次
授業の方法	演習	到達目標	G,H	実務経験	無
ナンバリング	HSe502	※DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

授業のねらい

本講義では、マーケティングをテーマに、ゼミでの議論やそのための準備を通じ、自ら課題を発見し解決する能力を身に着けることを目標とします。
3年次前期に開講するコマース研究ゼミナールⅡでは、自分の主張をサポートする根拠を得るためのデータの分析方法を学びます。信頼できる根拠を得るためには、データをどのように集め、どのように加工すればよいのか、実際に自分の手を動かして学んでいきましょう。
また、テキストで学んだ知識を実践するための学外実習も実施予定です。

到達目標

・学生が、自分の主張をサポートするためにどのようなデータが必要かを判断できる。
・学生が、自分の主張をサポートするために必要なデータを入手できる。
・学生が、自分の主張をサポートするためのデータを適切に加工し、わかりやすく報告できる。

授業内容

1週目 ガイダンス：テキストの決定、担当者の割り振り
2週目 テキストの輪読：第1章
3週目 テキストの輪読：第2章
4週目 テキストの輪読：第3章
5週目 テキストの輪読：第4章
6週目 テキストの輪読：第5章
7週目 テキストの輪読：第6章
8週目 テキストの輪読：第7章
9週目 テキストの輪読：第8章
10週目 テキストの輪読：第9章
11週目 テキストの輪読：第10章
12週目 テキストの輪読：第11章
13週目 テキストの輪読：第12章
14週目 テキストの輪読：第13章
15週目 学外実習
16週目 学外実習についての報告会を実施します。但し、やむを得ず、15 週目までの授業内容を実施出来なかった場合は、補講授業を行います。

準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：テキストの該当箇所を読み、要点を把握するとともに、不明点を明らかにしておくこと。報告担当者は、報告用のレジメを作成すること。また、グループ・ワークの準備のために同じグループのメンバーと意見交換などしておくことが望ましい（所要時間：1.5時間）
復習：ゼミでの議論を振り返り、テキストの要点を取りまとめること。（所要時間：1時間）

成績評価の方法・基準

ゼミへの積極的な参加態度（50%）、ゼミでの報告内容（50%）をもとに評価します。

履修上の留意点

-成績評価は、11週以上ゼミナールに出席した学生を対象とします。つまり、5回目の欠席で単位取得要件を満たさなくなります。
-ゼミ内でインターネットを利用した資料収集、調査等を行うので、PC、スマホ、タブレット等の通信機器を持参すること（学内Wi-Fi使用予定）。

課題に対するフィードバックの方法

ゼミ時に、個別および全体に対して適宜フィードバックを行う。レポートや報告資料については個別にフィードバックする。

テキスト

講義内で適宜指示します。

参考書

木下是雄（1981）『理科系の作文技術』中公新書、924円

更新日付

2026/02/27 10:31